

事業評価調書

◎基本情報

年度		令和4年		会計コード		10		一般		事業コード		36080		
事業名		自殺総合対策推進費												
評価担当課		所属名		保)障がい保健 精神保健福祉セ										
		課長名		菊田 潤		担当者名		佐々木 理乃		電話番号		011-622-5190		
施策名	主	あらゆる世代の市民や企業の健康への意識が高まり、健康づくりや												
	副													
アクションプラン		● 対象 ○ 対象外				戦略ビジョン		● 対象 ○ 対象外						
事業の性質		○ 経常経費 ● 臨時的経費												
		○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理												
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他												
	目的	短期	自殺の現状を知るとともに、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話をきいて、必要な支援につなげ、見守る人である「ゲートキーパー」の役割を理解し、自ら周囲の人に働きかけができる人を増やす。											
		長期	「ひとりでも多くの命を救う」社会的な要因への働きかけを含めた様々な施策を講じることにより、市民が周囲の人たちを支えあい、自殺を考えている人を地域全体で救うことで、安心・安全に暮らすことのできる社会の実現を目指す。											
	取組内容	自殺対策推進のため、国の「地域自殺対策強化交付金」メニューに従い、様々な事業を実施することで、誰も自殺に追い込まれることのない社会を実現する。 ①札幌市自殺総合対策連絡会議において効果的な対策の検討・実施(学生メンタルヘルス対策含む)／②心の健康づくり電話相談の夜間・休日・新型コロナウイルス感染症対応／③ゲートキーパー研修会及び入門講座の開催／④普及啓発として講演会や地域密着型活動の実施／⑤自死遺族支援研修会の実施／⑥若者向けの啓発マンガ冊子の配付やイベントの実施／⑦自殺未遂者対策の実施												
	実施結果	電話相談事業(相談12, 134件)／人材養成事業:行政職員や教職員、専門職、市民向けに研修会を実施(受講者計1, 409名)／計画策定実態調査事業:札幌市自殺総合対策連絡会議(令和4年12月26日開催)／若年層対策事業:中高生向け啓発マンガ冊子配布(119校、16, 510部)、中央図書館におけるパネル展(来場者計1, 287名)／自殺未遂者支援事業:自殺未遂者支援部会(令和4年7月19日、令和5年3月28日開催)												
事業実施における工夫点		ウェブサイトや啓発マンガ冊子、各種人材養成研修など、資源を残すことができる事業に重点を置くとともに、一般財源の負担を減らすため、交付金補助率の高い事業メニューを活用して実施した。												
対象者		市民、地域の団体、保健・医療・福祉分野の専門職等							開始	0 年度		終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等		自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、地域自殺対策強化交付金交付要綱、札幌市自殺総合対策推進会議設置要綱												
他都市の状況		自殺対策基本法及び国の自殺総合対策大綱に基づき、全ての都道府県と市町村において、各地域の特性に応じた計画を策定し、自殺対策に係る取組を展開している。												

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		8,596	17,000	10,048	12,000
うち特定財源		7,055	9,504	6,767	7,641
人工		4.1	4.1	4.1	2.2
人件費		29,520	29,520	29,520	15,478
計(事業費＋人件費)		38,116	46,520	39,568	27,478
事業費 の内訳	令和4年度決算	・心の健康づくり電話相談夜間・休日対応 4,950千円 ・心の健康づくり電話相談業務委託料 3,080千円 ・ゲートキーパー養成研修事業 302千円 ・若年層向け自殺対策普及啓発事業 221千円 ・その他 1,495千円			
	令和5年度予算	・心の健康づくり電話相談夜間・休日対応 4,950千円 ・心の健康づくり電話相談業務委託料 3,218千円 ・ゲートキーパー養成研修事業 126千円 ・若年層向け自殺対策普及啓発事業 260千円 ・その他 3,446千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	ゲートキーパーに関する研修受講者数(累計)							
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
	13832	15600	15241	16900					
活動指標2	指標名								
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
成果指標1	指標名								
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
成果指標2	指標名								
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
項目	判定	理由							
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	ゲートキーパーに関する研修受講者数(累計)の令和4年度までの目標値15,600人に対し、令和4年度までの受講者数は累計15,241人となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた対面形式での研修の中止を余儀なくされたが、動画配信や資料提供等の代替手段により一部の研修を実施した。							
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	新型コロナウイルス感染症等の影響を受けにくいオンラインによる普及啓発活動や、動画配信による研修等の開催など、各事業の効果的な実施方法を検討した結果、事業規模を継続させつつ、支出額を削減させることが出来た。							
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	ゲートキーパーに関する研修について、動画配信や資料提供等の代替手段により、コロナ禍においても効果的な研修を実施している。							
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	受講者のアンケートでは、「満足」又は「やや満足」と答えた方が9割以上であった。また、研修方法の変更(動画配信)により、習熟度の向上や研修内容の共有に一定の効果があつた。							
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外 市民参加結果への対応 ☐ 回答 ☐ 反映								
今後の改善点	オンラインによる研修等、感染症流行下で培われた技術を有効的に活用しつつ、より効果的な実施方法について、引き続き検討していく。								
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし								
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円				
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし								
評価の理由	新型コロナウイルス感染症等の影響を受けにくいオンラインによる普及啓発活動や、動画配信による研修等の開催など、各事業を効果的に実施できた。								
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 休止・廃止							
		社会情勢等の変化に影響を受けにくい研修方法を検討し、柔軟に対応できるよう関係機関との連携強化や様々な研修方法に対するスキル向上に務める。							
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他							
		同等の事業を継続して実施するため、予算の確保が必要。		見直し効果額	0 千円				